

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



すべての女性が
健康で生きやすく、活躍できる
社会を目指して

医療・福祉・政治・経済が連携し、社会に声を届けます。

japan-women-foundation.org



私たちの活動は、
「女性たちを救済して乗せる母船」をイメージし、
フェムシップと呼んでいます。

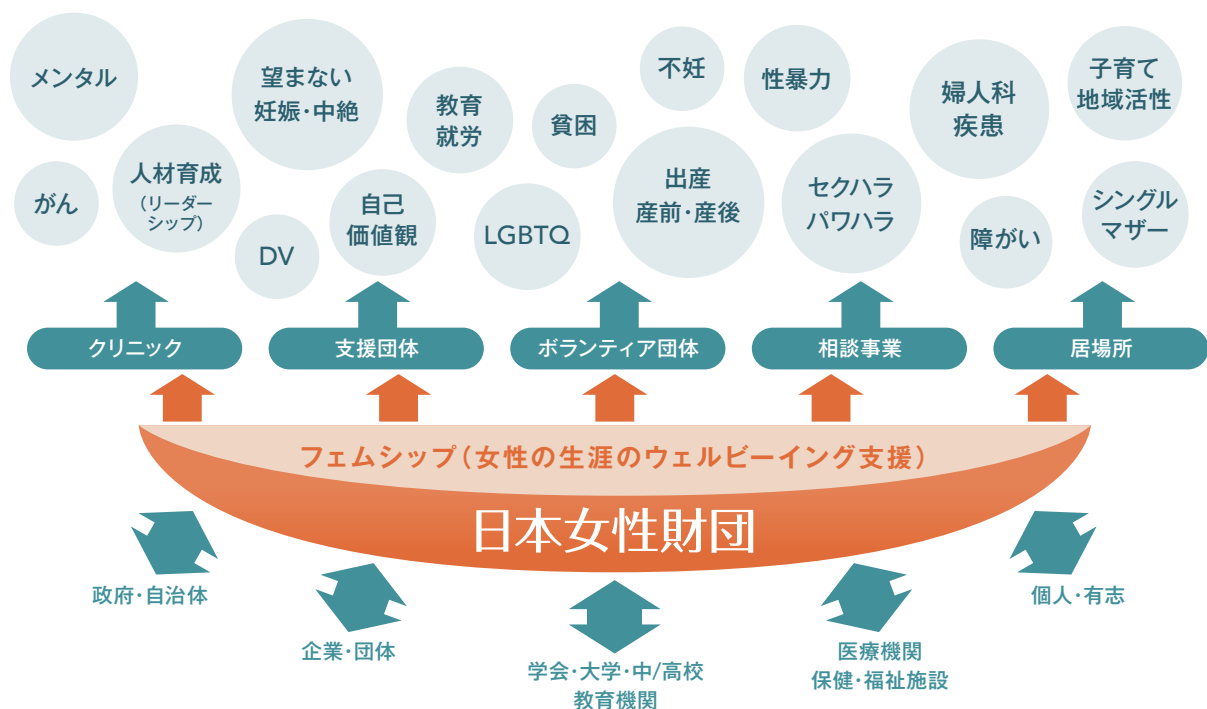
あなたが、誰かの船になる。

あなたのご支援が、困窮する女性の生き抜く力を後押しします。

地域・女性支援団体との連携活動



困窮している女性の、相談から自立まで、
フェムシップ・ドクターズや女性支援団体と連携し、包括的な支援を行っています。



女性の生涯の心身の健康と社会的なWell

Action 1 女性たちが相談しやすい専門窓口を増やす活動



学校、企業、駅ナカ、公民館などの場所を使い、親身になってお話を聞きます。フェムシップドクターズ*が出向きますのでお気軽にご相談ください。

※当財団の主旨に賛同し、連携する医師、医療従事者

Action 2 困窮する女性たちの緊急救済

性被害、DV、望まない妊娠、健康不安や不調、栄養失調などで、生活困窮な状況下にある女性たちを救済する活動をしています。

地域やフェムシップドクターズ、女性支援団体と連携し、気軽に相談できる窓口や安全を確保し、自立を促す施設を増やしています。



Action 3 フェムシップドクターズの活動



困窮する女性たちを救うため、ヘルスリテラシーの向上、アクセスしてくる女性たちの医療的な支援を行っています。またフェムシップドクターズに向けた勉強会を通じて現状を知る、知ってもらう活動を継続しています。

貧困やDV、居場所のない女の子や、困窮している女性の現状を知り、より多くの医療従事者の方にフェムシップドクターとして参画いただけるよう活動を続けています。

Action 4 女性支援団体や専門機関とのプラットフォームの構築

医療・福祉・政治・経済が連携する当財団の活動がWAM(独立行政法人福祉医療機構)のモデル事業として採択され、地域全体で女性たちを支援するプラットフォームづくりを開始しました。



リアルプラットフォームの発足

まず2022年11月、困窮する女性を支援する「岩手リアルプラットフォーム連絡会」を発足。

また東京でも2023年2月に同じく連絡会を発足しました。DVや性被害など、女性を取り巻く社会問題の解決を図るため、45団体がネットワークし、全国に展開しています。女性たちの課題に合わせて、適切な解決の場所につなげ、団体同士や自治体、専門機関などとの情報交換、勉強会も開催しています。



岩手リアルプラットフォーム連絡会



東京リアルプラットフォーム連絡会

-beingを支援する活動で「明日を変える」

Action 5 女性の健康と活躍のためのリテラシー研修



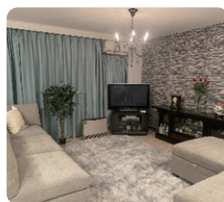
企業や学校、自治体などを対象に、女性特有の健康問題や、生涯を通じて活躍するために必要なリテラシー研修を行っています。

オンライン、リアルなどさまざまな方法で開催します。

お気軽にお問い合わせください。

Action 6 健やかに安心して暮らせる仲間と居場所の開設

緊急救済した女性がしばらくの間、安心して暮らせる仲間と居場所として「フェムシップハウス第1号施設」を開設しました。当財団が地域の各機関と連携しながら、自立へ向けて一歩踏み出せるよう支援活動を行っています。レスキューセットや当面の食料、生活費なども支援しています。



フェムシップハウスの開設・支援(第1号 青森県八戸市/シェアハウス白銀ハウス)

Action 7 社会や政治に働きかける活動



健康・政治・経済・人材育成の観点で社会とつながり、女の子、女性たちのウェルビーイング実現のため、現状を調査し、そのデータをもとに政策提言を行います。女性たちが健康で生きやすく、活躍できる、より良い社会システムの構築に向けた活動をします。

2022年7月22日

高市早苗 自由民主党 政務調査会長に、NPO法人ReMind様と行った

「"1万人ママの声を聞かせて" アンケート」の結果をもとに要望書を提出しました。

Action 8 勉強会・活動報告会の開催

2020年(初年度)は支援団体に「女性たちの今」をご紹介頂く勉強会を9回にわたって開催。2021年は、「私たちのウェルピライフ」をテーマに、経営トップ、医療者、政治家などにご参加頂き、それぞれの分野の多角的な視点からディスカッション、2022年は四半期ごとに活動報告会を開催。

また、若年層に向けた周知、啓発活動として、YouTube、Instagramでのライブ配信など、オンラインイベントも行いました。



Action 9 イベントによる啓発活動

2022年、「#femshipの日」を制定し、地域医療と地域の女性支援団体が繋がって、地域全体で困窮する女性たちを支える仕組みを広げるイベントを開催しました。財団の各委員会および中央省庁の各局の方々に、直近の取り組みについて発表頂きました。

**第1回 SDGs JAPAN SCHOLARSHIP
岩佐賞 を受賞しました。「医療の部」**
フェムシップドクターズの活動が評価され、
2022年10月、日本女性財団として受賞。



代表理事メッセージ

女性の生涯のWell-beingの実現に向けて、
草の根から包括的に社会を動かします

対馬 ルリ子

産婦人科医
対馬ルリ子女性ライフクリニック
理事長



本財団は、未曾有のコロナ禍の中で誕生しました。女性には特有の健康リスクがあります。日本の女性に関するヘルスリテラシーは他の先進国に比べ低いのが現状です。私たちは、「女性の 生涯の心身と社会的なウェルビーイングを支援する」というテーマを掲げ、女性の心身の健康 および社会的な活躍を後押しし、新しい日本の社会づくりに貢献してまいります。

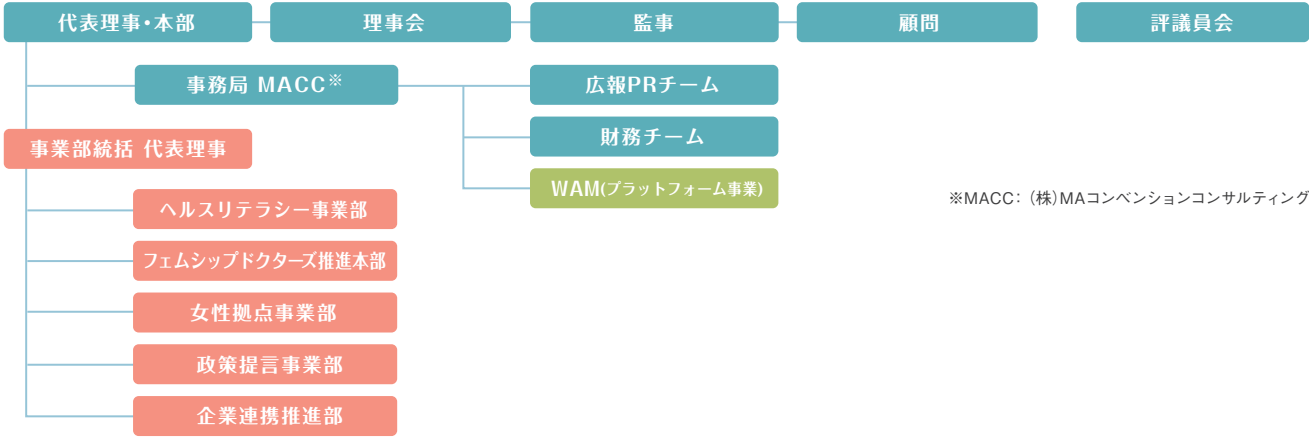
また、コロナ禍の医療現場では、女性たちの困窮した姿が急増し現在も望まない妊娠、中絶、DV、虐待、失業、貧困による栄養失調、月経困難症など、女性たちの大きな負担とリスクが大きな社会問題となっています。

日本女性財団は、包括的に女性の人生を支え、救済して乗せる母船(femship:フェムシップ)をイメージしています。支援を必要としている女性たちを、フェムシップドクターズや支援団体が窓口となって、適切な専門機関、継続的な支援につなぎます。

また、多くの企業や組織と連携して社会課題解決のための活動を展開します。

あなたもfemshipに乗船し、社会に声を届けませんか？

● 組織図



● 評議員



奥田 浩美氏

株式会社ウィズグループ
代表取締役



小巻 亜矢氏

株式会社サンリオ
エンターテインメント
代表取締役社長



田瀬 和夫氏

SDGパートナーズ 有限会社
代表取締役 CEO



池上 清子氏

公益財団法人
プラン・インターナショナル・ジャパン
理事長



吉村 泰典氏

慶應義塾大学 名誉教授
新百合ヶ丘総合病院 名誉院長



高階 恵美子氏

自民党 衆議院議員

● 理事



対馬 ルリ子(代表理事)

産婦人科医
対馬ルリ子女性ライフクリニック
理事長



吉川 千明

会社代表
美容家・
オーガニック
スペシャリスト



内田 容子

会社代表
総合電機メーカー
広報・PR職 (現職)



森田 敦子

株式会社サンレイ・
インターナショナル
代表取締役



北條 裕子

株式会社 SouGo
代表取締役社長



稲田 龍介

会社役員



上野 千鶴子

社会学者・東京大学名誉教授
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)
理事長
[撮影 後藤さくら]



関口 由紀

泌尿器科医
女性医療クリニック
LUNAグループ
理事長



高宮城 直子

産婦人科医
Naoko女性クリニック
院長

いろいろな支援のカタチがあります

日本女性財団は、皆様のご寄附・ご支援・会費で成り立っています。
ご寄附と協賛金などは、女性たちのための活動に活用させていただきます。



個人会員

Femship Supporter

財団の趣旨に賛同し、ご寄附をしていただけます。
毎月々1000円単位(5000円まで)で、口座引き落としのご寄附が可能です。
◎各種クレジットカードに対応しております。
右記のQRコードからご確認ください。



法人会員

Femship Partner

法人は年会員制です。
30万円／財団の趣旨に賛同する企業様
50万円／財団の趣旨に賛同し、共に活動する企業様
100万円／財団の趣旨に賛同し、共に学習機会や活動に参加する企業様
300万円～／財団の趣旨に賛同し、共に学習の機会や活動、研究・開発などに取り組む企業様
ご不明な点はお問い合わせください。 info@japan-women-foundation.org

私たちと学び、参加し、一緒に活動しませんか？

日本女性財団に関わる団体や専門家の情報を広く多くの人たちに見ていただけるポータルサイト「[femship.jp](https://www.femship.jp/)」では、イベント、セミナーなどさまざまな役立つ情報をご紹介します。是非、ご覧ください。

<https://www.femship.jp/>



#femship



● 随時寄附・遺贈など

お問い合わせ先 日本女性財団事務局
info@japan-women-foundation.org

口座へ直接のお振込みを希望される場合は、事務局にご一報の上、以下にご寄附をお願いいたします。

みずほ銀行 銀座中央支店
普通 3057005
一般財団法人日本女性財団

● 財団との連携、各種登録、ボランティア、取材などのお問い合わせ

フェムシップドクターズや、女性支援団体への登録、取材依頼、その他のお問い合わせは、公式サイト 以下のQRコードからお願いします。

一般財団法人 日本女性財団
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル1.2階 SPACES 大手町
TEL: 03-5211-8522
メール: info@japan-women-foundation.org

